

宮城マスターズ陸上競技連盟会議・理事会 議事録

令和3年 3月 7日 13:30~15 :30	場所	宮城NPOプラザ
出席者	角屋勇夫, 駒野敦子, 沼津節生, 佐々木淳哉, 佐瀬浩, 菅原一昭, 田鎖りえ 佐々木幸一, 落合良枝, 齋藤洋美, 佐々木彰, 高橋裕司, 高橋行雄	13名出席
会員出席者	都甲達也様, 加藤裕一様, 鈴木進様, 熊谷一久様, 巨泉猛様, 及川拓郎様, 小林尚人様	7名出席
開催名	令和3年度 宮城マスターズ陸上競技連盟 総会	
	司会進行(高橋裕司理事)、議長(佐瀬 浩副会長) 開会のことば(菅原一昭理事長)、会長挨拶(佐々木淳哉会長) 祝辞(角屋勇夫宮城県陸上競技協会会長・宮城マスターズ陸上競技連盟名誉会長)	
議題1	第1号議案(佐々木淳哉会長) 宮城マスターズ陸上競技連盟の規約の全面改定について 第6条「役員の選出」、第8条、「役員会議」、第9条「役員の任期」 第10条「役員の解任」、第11条「連盟の解散」、第13条「会費」 第14条「登録料」、第18条「事務局」	
議題2	第2号議案(菅原一昭理事長) 2020年度事業報告 昨年度:コロナ禍, 前理事長が体調を崩し組織運営が困難なため、 5月上旬に解散。7月以降に県陸協角屋会長、東北マスターズ会長 袴田会長のご支援の元、新体制に向け準備を進めていった。	
議題3	第2号議案(齋藤洋美会計) 令和2年度決算報告 2020年度5月解散のため、予算0円。	
議題4	第3号議案(菅原一昭理事長) 2021年度事業計画 5月22日(日)、8月23日(日)栗原市築館陸上競技場 理由:宮城スタジアムが8月下旬まで五輪のため使用不可。 仙台市陸上競技場が4月下旬まで整備のため使用不可。 そのため、使用優先順位としてマスターズは、春の大会確保出来ず。 秋の大会は、当初希望日の9月5日から12日に変更になった。 しかし宮城スタジアムにて高校新人のため審判確保が難しいことと 全日本マスターズの代替え予定日と重なっていたため、大事をとって 日程と会場を変更せざるを得なかった。	
議題5	第3号議案 令和3年度予算案(菅原一昭理事長) 前年度未納金:2020年度日マ登録料未納分@105,000について大会参加料について 3種目以内@5,000。理由として、登録会員が少なく大会予算を増やさないと赤字になるため。新規立ち上げと いうこともあり、今年度は今までと同じ参加料で行い様子を見る。 運営費の中で高い予算額になっている、通信費の削減として、会員の方々に 従来の郵送とHPでの登録・大会参加申込み等のご協力をいただき少しでも 経費を削減し、会員の方々の年間登録料や大会参加料の負担を軽減させる。	
議題6	第4号議案(菅原一昭理事長) 宮城マスターズ陸上競技連盟 新役員の決定について	
議題7	第5号議案(佐々木淳哉会長) 年会費及び宮城陸上競技協会登録料の改定について 1.宮城マスターズ陸上競技連盟の年会費について 昨年度年会費@6,000→今年度@5,000へ変更。 2.宮城陸上競技協会への登録料について 昨年度年会費@1,500→今年度@3,000へ変更。 理由 ①新しい登録管理システムを構築するための費用に充てるため。 ②登録料の財源をスポンサーの協力金、助成金、補助金主体ではなく、自主 財源主体にするようスポーツ庁からも提言されている。 ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けてスポンサーから協力金の大幅な減額 大会の中止などで、連盟の収入が6割ほど減少したため。	
決定事項	①大会参加料当初案、2種目まで@4,000、3種目@5,000→3種目まで@5,000 ②会員郵送書類について、HPのシステムを利用することをお願いするが、 郵送希望者がいれば、従来通り郵送する。	
備考	欠席者:松坂孝,大場瑞夫,石川佳子 3名欠席	記録 佐々木 彰